

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 130
平成 20 年 2 月 25 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

PDF



マイコンピュータなどで、こんな形のアイコンになるファイルを、PDF (Portable Document Format) ファイルといいます。このファイルを開くと、通常 Adobe Reader というソフト(無料のツール)がこのファイルを表示します。

このファイルは、印刷して配布する代わりと思うとわかりやすいです。ワープロなどで作成した文書を印刷する感覚で、PDFファイルを作るわけです。閲覧する場合は、画面で印刷物を見ることとなります。

実際の印刷物と異なる点がいくつかあります。(Adobe Reader Ver.7以降を考えています。)

まず、表示されたテキストをコピーしたり検索したりできる(テキストデータとして扱える)こと。また、インターネットのアドレス(URL)が書かれているとき、それをクリックするとそのページが表示できる(ブラウザが立ち上がる)ことなどです。

ファイルの作り方によって、これ以外にも便利な機能(しおり、注釈など)を持っているものもあります。

ファイルによっては、保護されていて、機能の一部が制限されているものもあります。

PDFファイルは、Adobe Readerで開くと、読み取り専用です。編集はできません。その一方、ネットワーク上の複数のコンピュータで同時に開く(閲覧する)ことができます。

これは、印刷物と同等に考えられるので、配布物として適当です。なぜなら、文書を作成したアプリケーションがなくても閲覧することができるからです。ワープロの一太郎で作成したファイルは一太郎がないときちゃんと表示することはできませんが、この文書をPDFファイルに変換しておけば、一太郎がなくてもAdobe Readerがあれば見ることができます。しかも、印刷物と同じですから、改行マークのようなレイアウトのための記号もなく、すっきり見えます。印刷もできます。

これまでは、PDFファイルを作成するには、それなりの作成ソフトを購入する必要がありました。最近では、無料のソフトもたくさん出ています。('クセロPDF'、'PrimoPDF'など)

印刷する感覚で使えるように、プリンタの一つとしてインストールされるものもあります。

PDF作成ソフトによって、作られるファイルの大きさ(ファイルサイズ)は若干異なります。

学校の職員用ノートパソコンでは、インストールが制限されていますが、ご自宅などインストールできる環境があれば、これを一つ入れておくと便利です。